

土砂災害から身を守るために！

横浜市では、平成 26 年 10 月の台風 18 号を教訓に、崖崩れが発生した場合に人家に著しい被害を及ぼす可能性がある崖地をあらかじめ抽出し、その周辺地域に対して、「土砂災害警戒情報」の発表とともに「避難勧告」を発令することとしました。

避難勧告が出されていない地域が安全ということではありません。大雨や台風の際には、防災情報に注意して、自らの判断で早めに避難行動をとるようにしてください。

1 危険箇所の確認

日ごろから、土砂災害警戒区域や避難場所などを確認しておきましょう。

○「土砂災害警戒区域」の確認

横浜市ホームページ（土砂災害ハザードマップ）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenchiku/kenbou/bousai/gake/gake/hmap/>



○「土砂災害警戒情報」の発表とともに「避難勧告」を発令する対象区域の確認

横浜市ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/doshasaigai-sonae.html#kankoku>



2 情報収集（「土砂災害警戒情報」に注意！）

雨が降り出したら、気象情報に注意し、積極的に情報を入手しましょう。

土砂災害発生危険性が高まると「土砂災害警戒情報」が気象庁と県から発表されます。

■横浜市ホームページ



■横浜市危機管理室ホームページ



■横浜市防災情報Eメール

気象情報・河川水位情報・地震情報などの防災情報をメール配信しています。

横浜市に関する防災情報をいち早く入手することができます。

下記のアドレスにメールを送信すると案内メールが届きます。

entry-yokohama@bousai-mail.jp



■横浜地方気象台

<http://www.jma-net.go.jp/yokohama/>

■神奈川県土砂災害情報ポータル

<http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html>

3 早めの避難！

「前兆現象を発見した場合」や「避難勧告が発令された場合」などは、土砂災害が発生する可能性があるので直ちに避難してください。

崖崩れの前兆現象とは？

- 崖から水がわき出る
- 小石がパラパラと落ちてくる
- 崖にひび割れができる
崖がふくらむ



資料提供：NPO 法人 土砂災害防止広報センター

避難(水平避難と屋内安全確保)

夜間や大雨等により既に浸水が始まっている場合など状況によっては、あらかじめ指定した避難場所に避難することで、かえって危険が及ぶ恐れがあります。
状況に応じて自宅等の屋内や近隣の建物の2階以上に避難して、安全を確保してください。

安全な場所へ避難 (避難場所、近くの高台、土砂災害警戒区域外の親戚の家など)



**堅牢な建物の2階以上または、
近隣の高い建物へ避難**

垂直避難



建物内の安全な場所で待避

(夜間や危険が差し迫っている場合など、屋外へ避難するとかえって危険な場合)

屋内待避
(斜面の反対側)



【問合せ窓口】

横浜市総務局 危機管理室 緊急対策課

電話：045-671-2064 FAX：045-641-1677 Eメール：so-kinkyu@city.yokohama.jp